

工学基礎 電磁気学 (数理工学社)
正誤表 (1刷)

佐藤 博彦

2024年10月1日

ページ	位置	誤	正	備考
p.66	式 (6.9)	dz	$d\phi$	積分変数に誤りがありました。
p.68	図 6.5			左図の $d\mathbf{r}$ の矢印の向きをすべて逆にし、右図の平行四辺形の一辺の $d\mathbf{s}$ の矢印の向きを逆にしてください。
p.69	式 (6.15) の下の行	ここで $\mathbf{l} - \mathbf{r}$ の向きの	ここで $\mathbf{r} - \mathbf{l}$ の向きの	
p.74	式 (6.29) 第3式	$H_z = \frac{3}{4\pi\mu_0} \frac{ \mathbf{m} }{r^3} (2 - 3\sin^2\theta)$	$H_z = \frac{1}{4\pi\mu_0} \frac{ \mathbf{m} }{r^3} (2 - 3\sin^2\theta)$	
p.179	式(13.27) 1行目	$\frac{1}{4\pi\epsilon_0} \frac{1}{r^2} \frac{\partial}{\partial r} \left(-Q + \frac{1}{r} \frac{\partial Q}{\partial r} \right)$	$\frac{1}{4\pi\epsilon_0} \frac{1}{r^2} \frac{\partial}{\partial r} \left(-Q + r \frac{\partial Q}{\partial r} \right)$	
p.180	式 (13.35)	$\phi(\mathbf{r})$	$\phi(\mathbf{r}, t)$	
p.180	式 (13.36)	$\mathbf{A}(\mathbf{r})$	$\mathbf{A}(\mathbf{r}, t)$	
p.182	式(13.40)内	q	q_0	
p.182	式(13.42)内 2箇所	q	q_0	
p.199	3箇所	共変ベクトル	反変ベクトル	本書ではすべて「共変ベクトル」と「反変ベクトル」の用語の使い方が逆になっていました。(以下同様)
p.200	1箇所	共変ベクトル	反変ベクトル	
p.201	4箇所	反変ベクトル	共変ベクトル	
p.201	2箇所	共変ベクトル	反変ベクトル	
p.203	2箇所	共変ベクトル	反変ベクトル	
p.205	2箇所	反変ベクトル	共変ベクトル	
p.205	2箇所	共変ベクトル	反変ベクトル	
p.206	1箇所	反変ベクトル	共変ベクトル	
p.207	1箇所	共変ベクトル	反変ベクトル	
p.207	1箇所	反変ベクトル	共変ベクトル	